

具体的な措置を取りなさい

グルマーイ・チッドヴィラーサーナダの講話

2020年10月31日 土曜日

2020年10月31日土曜日、バーバ・ムクターナダの38回目のマハーサマーディを祝うシッダ・ヨーガ・セレブレーション・サツァングが、グルマーイと共に行われました。サツァングは、SYDA ファウンデーションによって制作され、シュリー・ムクターナダ・アーシュラムのバガヴァーン・ニッテャーナダ・テンプルから、ライブ動画配信されました。

このサツァングのタイトルは、「神聖な休息の領域に住む」でした。グルマーイは、当初、このタイトルを2020年のシッダ・ヨーガ・シャクティパート・インテンシヴのために付けました。しかしパンデミックにより、今年はシャクティパート・インテンシヴを行わなかったため、グルマーイはこのタイトルをこのサツァングに使うよう要請しました。

サツァングは、「バーバへの敬意」のビデオで始まり、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにいる人々全員でバーバ・ムクターナダの愛するグル、バガヴァーン・ニッテャーナダにアーラティーをささげました。スワーム・イーシュワラーナダは、バーバの生涯と遺産、そしてバーバが世界中の何千という探究者の内側に目覚めさせた光について話しました。

私たちは、グルマーイと共に「シュリー・グル・ギーター」を朗唱し、ヤマン・カリヤーン・ラーガで「オーム・ナマー・シヴァーヤ」をチャンティングしました。それは、バーバの時代から子どもたちが大好きだとグルマーイがしばしば言ってきたチャンティングです。

チャンティングの後、グルマーイが話しました。

イーシャ・サーデサイ

バーバ・ムクターナンダのマハーサマーディ——38周年です。この機会を祝って、あなたは「シュリー・グル・ギター」のアビヤーサ、勉強をしました。あなたの歌声はとても甘美に響きました。あなたの献身で甘美になりました。それは、今日私がバガヴァーン・ニッテャーナンダにプージャーをささげるのを手伝ってくれた幼子のローヒトの献身と同じくらい甘美でした。

あなたはここにいて幸せだと思いませんか？ あなたはそこにいて幸せだと思いませんか？ あなたはシッダ・ヨーガのユニバーサル・ホールのあらゆる場所において幸せだと思いませんか？

ウパニシャッドでは、賢人たちが至高なる自己について話しています。大いなる自己は目を使わずに見ます。大いなる自己は耳を使わずに聞きます。大いなる自己は鼻を使わずに匂いを嗅ぎます。大いなる自己は舌を使わずに味わいます。大いなる自己は物に触れなくても感触を得ます。パンデミックのこの困難な時に、賢人たちの教えは私にとってさらに生きたものになったと、私は言わなければなりません。

ロックダウンは全世界にとって大きな憂慮の源であり、それはもっともなことです。

私はインドで育ち、グルデーヴ・シッダ・ピートゥを訪れていたことを思い出します。ひとたび私たちがアーシュラムに入ると、私たちは「アーシュラムの中に」いました。私たちはセーヴァーをささげることに集中していたので、アーシュラムの敷地を離れることはありませんでした。しかし決してロックダウンのようには感じませんでした。分かっていたのは、私たちはアーシュラムに

いたかったということです——そして私たちはアーシュラムに「いた」のです！ アーシュラムにいる限り、他のことは問題ではありませんでした。

ですから、ロックダウンのこの時期は、精神的環境にいるように感じます。私は、すべてを「高尚な」哲学に仕立てることで無責任になるよう言っているわけではありません。今まさに起こっていることを哲学にすることではありません。しかしながら、哲学の真の知識を持つこと——真の哲学的知恵を持つこと——は本当に助けになります。何か起きた時はいつでも、知識、知恵、そして教典の教えというレンズを通して見る習慣をつけてください。

思いがけない変化の強風で揺らぐのはとても簡単です。ストレスを受けた時に力を手放すのはとても簡単です。恐れに依存するのはとても簡単です。恐れには簡単に頼ってしまうものです。「私は怖い。私はおびえている。私は恐ろしい。私は怖がっている。私は恐れている。私は茫然としている。私は凍り付いている」

ひとたび恐れ領域に入ると、誰があなたをそこから引っ張り出してくれると思いますか？ 分かりませんか？ あなたを作っているのはあなた自身だということ。あなたがすることがあなただということ。ですから、サーダナーの成果を体現するためにさらに努力をすることの方がよほど良いことです。ひとたびあなたが、自らの良さを体験する空間、自らの美德が住む空間に自分自身を見いだせば、人々がどのようにあなたの元にやって来るか、気づくでしょう。なぜなら彼らは、あなたに何か起きていることを知っているからです。あなたは彼らの魂を向上させる何か良いものを持っているからです。

もしあなたが恐れ領域に入れば、誰もあなたの周りにいたいとは思わないことを、覚えておいてください。彼らはあなたを一人きりにするでしょう。この種類の孤独は、インドの教典で語られている心地よい孤独ではありません。この孤立は、スズメバチの巣に似ています——誰も触りたがりません。

しかし、もしあなたが自分を向上させる知識を身にまよえば、あなたは楽園を作り、皆が「あなたの」楽園にやって来て歩きたいと思います。そうではありませんか？ 誰が地獄へ行きたいと思うでしょう。行きたい人などいるとは思えません。人は怒ると、あなたに地獄へ行けと言うかもしれませんが、あなたは、「私はもっと良い場所を知っている」と、自分自身に言ってください。

そう、私たちは困難な時期にいて、それは長引くように思われます。ニュースを読む人は誰でも、この困難な時は長く続くと聞いています。それはビザの延長のようです。ウイルスだけが政府の法規制を超えています。誰もこのウイルスを根絶し得ていません。それは、最も業績ある高名な科学者の専門的技術をものもしない逃亡者です。それは人間をもてあそび、まるで「私はそう馬鹿ではないよ」と言って、私たちにウインクしているかのようです。

そこで、誰がこのウイルスの「ビザの延長」をしているのかと聞くかもしれません。このことについて考えてみましょう。うーむ。これを解明するのにどのくらいかかりますか？ それは「誰」なのでしょう？ ゾウ？ クジラ？ キリン？ カバ？ 恐竜？

そう…鏡を私たち自身に向けてみましょう。それは私たちです！ この地球上の人々です。この病をはびこらせ続けているのは人間なのです——自分はとてもとても頭が良いと思っている人々、自分が何をやっているかを知っていると思っている人々、科学者なんていないと思っている人々、もうそれを抑え込んだと思っている人々、そして自分には関係ないと思っている人々。

そう、このウイルスを増殖させ、新たなビザを、もう一つ、もう一つ、さらにもう一つと与えているのは、そうした人々ではありませんか？ ビザ(Visa)、ウイルス(Virus)、勝利(Victory)。これらの言葉がすべて同じ形で始まることは、考えてみる価値があります。

このウイルスに勝利するにはどうすればよいのでしょうか？ それはそれぞれの人次第です。歴史は、人がパンデミックが終わる時を決めると語っています。

また私は、パンデミック疲れについても聞いています。興味深いことです。人々はパンデミック疲れについて話しています。パンデミックによる鬱(うつ)について話しています。パンデミックに関連した人命の損失について話しています。パンデミックに関連した失業について話し、希望を失ったと感じています。私が見たいことは、人々がお手上げだと諦める代わりに、彼らがこの悪質なウイルスの影響や結果を克服するために何かポジティブなことをすること——小さな措置を取ることです。

科学者や専門家たちの話を聞くたびに、彼らは「このウイルスについてはよく分からないことがまだたくさんあります」と言います。専門家たちがそのようなことを言う時、私たちはより一層注意深くなる必要があります。それは、あなたが子どもの時に、あなたの両親があることについて知らないと言ったようなものです——すると、あなたは少しばかり注意深くならなければなりません。もしあなたの親があることについて知らないなら、それは通常、あなたはそれをするべきではないということを意味します。もちろん、あなたが大人になれば、何をすべきかは分かるようになるでしょう。でも、私は今、あなたが子どもの時について話しています。そしてこの場合、科学者でも専門家でもない私たちのような人々は、彼らの忠告を無視することはできません。

もし大混乱の時に、関係する専門家たちが私たちに何かを言うなら、その助言に耳を傾けることは必須です。安全を優先してロックダウン下にいることに抵抗して大騒ぎする代わりに、これを「あなたの」時間と考えなさい。もし、閉じ込められて気が変になりそうだと感じ始めているなら、例えば、この状況の対処の仕方をどう子どもに教えるだろうかと考えなさい。何が起こっていようとも、幸せそうに見え、幸せでいる、幸せを作る、その理由があなたにはあります——なぜなら、あなたの子どもはあなたを尊敬していることを、あなたが最高のものを提供してくれる

だろうと望んでいることを、あなたは知っているからです。同じように、たとえ周りの世界がいつの間にか困難な状況になっていても、あなたは自分の知識に、自分の英知につながらなければなりません。あなたにはそれができるのです。

実際、今年の3月から、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムは完全なロックダウン下にあります。あなた自身の生活に適切な責任者を置けば、うまく機能させることができます。それを哲学的に見てはどうですか？ もしあなたが、「起こることはすべて最良のこと」という教えを信じてきたなら、あなた自身に問い掛けなさい。「その成果を確かなものにするための私のダルマは何だろうか？」

自分自身と自分の行動を、より深く見たいと思いませんか？ 自分自身を確認したいと思いませんか？ あなたはどんな障害物を心への道に置いたのでしょうか？ たとえもし、あなたが心にたどり着けないと思っても、あなたはそこへの道に置いた障害物を取り除くことに精を出すことはできます。実際のところ、心に入ることは難しくありません。それを難しくしているのは、あなたが作り上げたすべての問題や状況です。ですから、まさにアーシュラムや、あなたの家や、仕事場の通路をきれいにするように、心への道をきれいにしなさい。それはちょうど、私がサツツァングでよく話した有名な画家の話のようなものです。彼は描いたりしませんでした——美は彼の周り中に既に存在していたので、彼はただ鏡をきれいにしただけでした。その美はただ映し出される必要があっただけなのです。

あなたが自分の内なる美を、内なる幸せを体験することを、自分自身に約束しませんか？ 悲しみ——悲しみを恐れてはいけません。不幸せ——不幸せを恐れてはいけません。それを乗り切らなさい。どれほど多くの波が海辺で砕けるのでしょうか？ サーファーたちは、どの波が乗るのに最適か知っています。同じように、非常に多くの感情があなたの内側に起こるかもしれません。しかし、従おうと思う感情が「一つ」あるでしょう——それに乗りなさい！ 自分自身

の感情に賭けなさい。幸せのその波に乗り、幸せを作り出し、健康を作り出し、華麗さを作り出し、奇跡を作り出しなさい。

興味深いですね？ どうやって奇跡を作り出すのでしょうか？ 考えてみてください。もし自分の内側の正しいゾーンにいると分かったら、奇跡は起きます——あっという間に。

今日、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで、SYDA ファウンデーションが主催したこのライブ動画配信の「シュリー・グル・ギター」の朗唱はとても甘美でした。とても気持ちが良かったです、本当に。「シュリー・グル・ギター」を朗唱している時、私はただ即興を入れたいと思いました。何か美しいもの、何か滑らかなもの、何か絶妙なものを体験する時、私はいつも、ただ即興をしたくなり、ただ歌いたくなるのです。そう、それは今日の私たちの「シュリー・グル・ギター」の朗唱をバデ・バーバが受け止めたということ、バーバ・ムクターナンダがとても喜んだということ、私に教えているのです。ジェイ、ジェイ。

満月がいつなのかを覚えていてくれて、ありがとう。そう、今日です！ そして、幾つかの国々では、今日は夏時間です。米国ではハロウィーンでもあります。かつてこれは、大人たちが光を受け入れる日でしたが、今は子どもたちがキャンディーという形の光を受け取る日です。とても素敵です。

私たちは「シュリー・グル・ギター」の朗唱という形の甘美さを受け取り、そして今、子どもたちにキャンディーという形でその甘美さを分け与える準備ができています。子どもたちの笑顔は甘美でかわいい。彼らの声もかわいい。私はローヒトの両親がシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでセーヴァーをささげる決断をし、ローヒトがアーシュラムで育っているのを嬉しく思っています。彼の声聞くのが大好きです。

私はいつも子どもたちに、「どうか、今のような声をずっと持っていてね」と話しています。彼らは私の言うことなど聞きません。決して。12歳になり、13歳になり、14歳になると、声変わりをします。ただそれだけでなく、それから彼らはこの世の中に魅了され、そして世の中は彼らに魅了され——そしてそれから、最終的に、かなり何年もたってから、彼らが求めてやって来る時が来ます。そして偉大な存在たちは言います。「わが子よ、戻って来たのだね」

もしあなたの周りに子どもたちがいるなら、彼らと遊び、彼らを教育する時間を取ってください。彼らと一緒にいることを楽しんでください。彼らは私たちと一緒にいることをとても喜ぶます。あなたが彼らと共にいることが、どんなに大好きかを、彼らに知らせてください。少しの愛を子どもたちに与える時、それは大きな役割を果たします。もっと、もっと、もっとと——あなたがどれだけ多くの愛を与えようと——欲しがるのは大人たちです。しかし子どもの場合は、一滴の愛が、子どもたちが最高に美しい人間へと開花することを助けます。ですから、あなたの子どもたちや、他の人々の子どもたちとの時間を作りなさい。もし、周りに子どもたちがいないなら、特に、ロックダウンのこの期間には、子どもたちについて考えてください。あなたが知っている子どもたちのことを考えてください。これから知り合う子どもたちのことを考えてください。生まれてくるあなたの子どもたちのことを考えてください。世界中の子どもたちのことを考えてください。

先日ローヒトと私は、バデ・バーバのパードゥカーにプージャーをしました。彼がパードゥカーにお米を降り注ごうとした時、私は彼に「お米を降り注ぐ前に、バデ・バーバに、『この世界中の飢えている子どもたち全員が食べ物を得られますように、バデ・バーバ』と言いなさい」と言いました。そして今日、再び私たちがパードゥカーにプージャーを行っていた時、ローヒトが銀のサンダルにお米を降り注いでいる間、彼は「この音はとてもきれい」と言い続けていました。彼はパードゥカーにお米が触れる音のことを言っていたのです。

バデ・バーバは子どもたちをととても愛していました。すべての子どもたちへのバデ・バーバの愛は途方もなく大きかったので、もしあなたが子どもたちのために祈りたいなら、バデ・バーバは最高の神の一人であり、最も偉大なグルの一人です。

もし、子どもたちを支援したいなら、子どもたちの世話をしているさまざまな慈善団体を通して支援することができます。余分なおもちゃがあるならば、それらを子どもたちにあげる方法を見つけすることができます。どこでも取り残された子どもたちを見掛けたり、写真やビデオを見たり、あるいは、そういった子どもたちのことを聞いたなら、ちょっと時間を取って愛の涙、豊かさの涙、優しさの涙をささげてください。私は人生を通してそうしてきましたし、これからも続けます。つい先日のことですが、私はテキサス州の川のそばで取り残された子どもたちの写真と映像を見ました——そしてもちろん、彼らのために祈り、彼らのために瞑想しました。

もし物理的なことをできないなら、意図を強く持ってください。あなたの意図を通して子どもたちを支援してください。可能な限りの手段をもって、子どもたちを支えてください。子どもたちはこの地球の未来であることを忘れないでください。

あなたの国を存続させたいのなら、そのための措置を取らなくてはなりません。単にニュースを読んだり、それについて話したりすることは、本当の助けにはならないでしょう。違いを作り出すためのしっかりとした措置を取らなくてはなりません。具体的な措置を取りなさい。具体的な措置を取りなさい。食料、衣服、そして避難所は、誰にとっても非常に重要なものです。

ではもう一度、「オーム・ナマー・シヴァーヤ」を3回チャンティングしてから、「サッドグルナー トゥ・マハーラージ・キー・ジェイ！」を言います。この瞬間は、信じられないほど貴重なものです。

ですから意図を作りなさい。私が今話したことに基づいて、意図を作りなさい。意図を持って
チャンティングしなさい。



© 2020 SYDA Foundation®.著作権所有。